

田原『幸せづくり』 PLAN 発行: 平成26年3月 PLANに対するご意見・お問い合わせ先 発行者: 田原市 編集: 政策推進部政策推進課 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL: 0531-23-3507 FAX: 0531-23-0669 E-mail: seisaku@city.tahara.aichi.jp







W

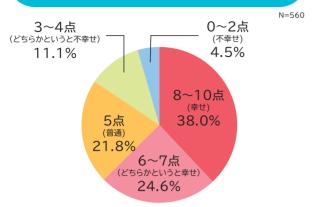
市民の幸福感の現況

あなたの「幸せ」は今、何点?

幸せについて 中学生の みなさんに 聞いてみました!

N=561

N=560

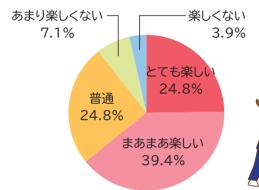


約 6割の人が 「幸せ」「どちらかというと幸せ」 と感じています。



多くの人が、 **友だちや家族とのつながり**が、 「幸せ」のために大切と感じています。

Q3 あなたは学校生活を楽しいと感じますか?



楽しいと感じる人が

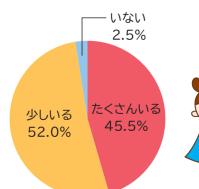
も割強いる一方で

楽しくないと感じている人が

約1割います。



Q4 あなたには信頼できる友だちがいますか?



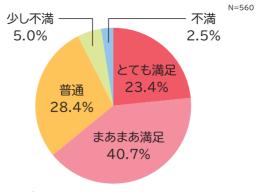
N=560

©5 あなたは過去1年の間にいじめを受けて 悩んだ経験がありますか?



ほとんどの人が信頼できる友だちがいると回答した一方で 約 1 割の人がいじめを受けた経験があります。

06 あなたは普段の生活全般に 満足していますか?



6割強の人が 普段の生活に満足しています。

08 あなたは自分や家族の健康で 心配や不安がありますか?



割3割の人が自分や家族の健康について不安を抱えています。

○7 あなたは親や家族から大切にされていると 感じていますか?

N=562



約9割の人が 家族から大切にされていると 感じています。

②9 あなたは自分の10年後の将来が 楽しみですか?



約8割の人が 将来が楽しみだと回答しています。

中学生の声

あなたにとって「幸せ」とは何ですか?



みんなが楽しく、仲良く、一緒にいること。一緒にご飯を食べられることが幸せ。 田原中学2年生

夢に向かって全力でできること。 それを親が応援して協力してくれる こと!!

福江中学2年生



頼れる家族や友だち がいて目標に向かって がんばれることです。

東部中学2年生



伊良湖岬中学2年生

が家があること。

家族がいて、友だちが

早く帰りたいと思う我

回答数について

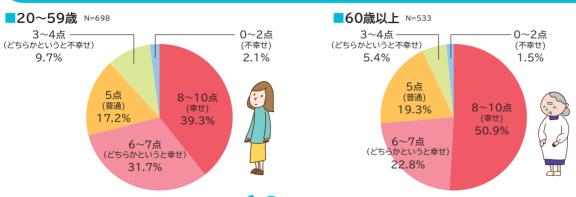
このアンケートは、平成25年9月に市内の中学2年生を対象として行った「幸せに関するアンケート」の結果の一部です。 回答をいただいた565名の中学生のみなさん、ご協力ありがとうございました!

市民の幸福感の現況あなたの「幸せ」は今、何点?



幸せについて **20歳以上の** 市民のみなさんに 聞いてみました!

②1 今現在、あなたの「幸せ」の程度を0~10点で評価すると何点ですか?

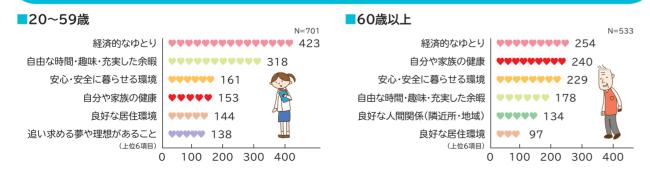


「幸せ」と感じる割合は60歳以上の人のほうが高くなっています。

Q2 あなた自身が「幸せ」でいるために、重要だと思うことは何ですか? ※○€3つまで



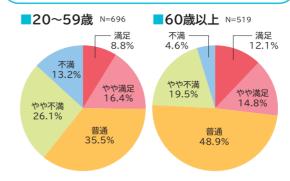
健康や経済面の心配なく、安心・安全な暮らしを「幸せ」と感じる人が多くなっています。 60歳以上の人は地域の中での人間関係を重視しています。



多くの人がよりゆとりのある生活を望む傾向にあります。 20~59歳は追い求める夢や理想があること、 60歳以上は地域の中での人間関係の充実を望む という意見が多く見られました。

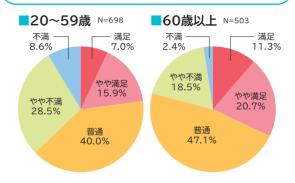
Q4 あなたの状況について教えてください。

● 経済的なゆとり



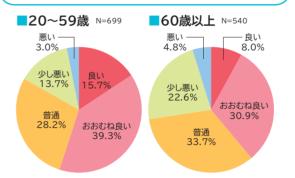
「やや不満」「不満」と回答している割合は 20~59歳の人の方が約4割と 高くなっています。

● 自由な時間・趣味・充実した余暇



「満足」「やや満足」と回答している割合は 60歳以上の人の方が約3割と 高くなっています。

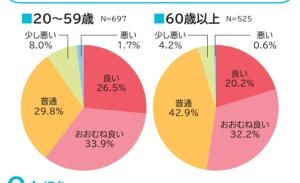
● 自分や家族の健康状態



20~59歳の 5割強が 「良い」「おおむね良い」と回答しているに対し、

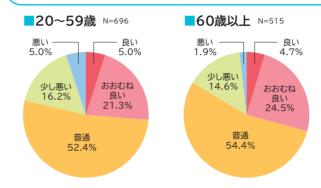
60歳以上の約3割が「少し悪い」「悪い」と回答しています。

● 家族との人間関係



9割強の人が 「良い」「おおむね良い」「普通」と答えています。

● 安心・安全に暮らせる環境(交通安全、防犯対策、自然災害への備え)



20~59歳の約2割、 60歳以上の1割強の人が 「少し悪い」「悪い」と感じています。



回答数について

このアンケートは、平成25年7月に市内の20歳以上を対象として行った「市民意識調査」の結果の一部です。回答をいただいた1,258名(20~59歳 707名、60歳以上 525名、他年齢不明)の市民のみなさん、ご協力ありがとうございました!

7

なぜ今「幸せ」が注目されているの?

田原市が「幸せづくり」に取り組む理由

「幸せ」の状態は人それぞれ。思い浮かべるかたちも一人ひとり、みんな違います。

一昔前までは

「テレビや自動車が欲しい!」

「**便利な暮らしをしたい!**」という共通の目標が市民にあり、 行政も「道路建設」など地域の開発整備に力を注いできました。



今

私たちの周りに多くの物があふれていくにつれ、人々は「物質的な豊かさ」よりも「こころの満足度」を求めるようになりました。みんなの価値観が多様化してきたのです。



行政の役割も「地域のモノを増やしていく」だけでは 足りなくなってきていました。

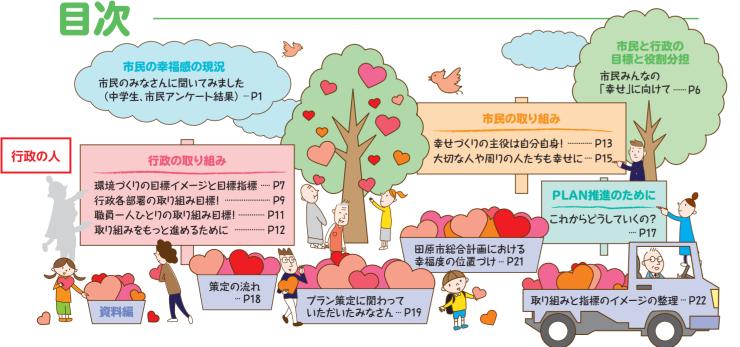




田原市は、いつの時代もみんなの共通の願いである 「毎日幸せに暮らせること」を、まちづくりの目標とする ことにしました。

市民と行政がそれぞれの役割分担のもとで、 手を取り合い一つのチームとなって、 みんなが「幸せなまち」をつくっていくために 今、はじめの一歩を踏み出しましょう。 「幸せづくりチーム田原」のスタートです!





7

市民と行政の目標と役割分担市民みんなの『幸せ』に向けて

最終目標のイメージ まちづくりの理念



みんなが幸福を実現できるまち

行政

目標達成のイメージ 市民幸福度指標

中学生アンケートと市民意識調査の質問『今現在、あなたの「幸せ」の程度を0~10点で評価すると何点ですか?』に対する回答の合計平均評価点数を市民幸福度指標とします。この指標が、田原市の幸せづくりの進み具合を測る"ものさし"になります。



市民のみなさんと市役所の役割分担のイメージ

■幸せづくりの主役はあなた自身

一人ひとりが思い浮かべる「幸せのかたち」はそれぞれ違い、その全てを行政が実現していくことはできません。あなた自身が自分の幸せの実現を目指し、さらに身近な人の幸せを高めていきましょう。

■行政の役割は?

市民のみなさんが幸せを目指すことができるよう、 「田原市民が幸福を追求できる環境*」を整えてい きます。また、自分が幸せではないと感じている人 を減らしていくことなどを行政の役割とします。

※田原市民が幸福を追求できる環境とは…

もし田原市が「道路が穴だらけ」「学校でまともな教育が受けられない」「いたるところで交通事故や犯罪が発生する」という環境であれば、市民が幸せを目指そうと思っても、幸せにはなれません。市民が幸せになるために必要な、基盤となる環境を「田原市民が幸福を追求できる環境」と位置づけています。



市民の取り組み

- ●自身の幸せとは何か考え、その実現に向けて努力 する
- ●仕事や活動、普段の生活などを通じて、だれにどのような幸せをつくりだすことができるのかを考え、その取り組みを増やしていく
- ●地域や企業も同様に、自分たちになにができるのかを考え、地域住民の結びつきを強めるための取り組みや働きやすい環境づくりをする

200

行政の取り組み

- ●田原市民が幸福を追求できる環境の整備と、幸せではないと感じている人を減らすため、全部署・全職ので市民の幸せづくりを進めて
- 市民と行政職員に幸せづくりの 取り組みを広げるため、啓発活動 やプランの見直しをする

環境づくりの目標イメージと目標指標

目標イメージ

「田原市民が幸福を追求できる環境」を整えること

一人の田原市民が生まれ、入学・就職・結婚・出産などのさまざまな経験を経て、そして人生の最後を迎えるまでの一 連のライフステージ(子ども→社会人→高齢者)。そのなかで、次のような環境が整っていれば、幸せを追い求めること ができ、生涯を通じて「幸せだった」と感じられるものと考え、田原市民が幸福を追求できる環境の整備を目指します。

- ◇安定した生活を送ることがで きる仕事を持ち、仕事や日々の 生活に充実感を感じながら、家 族が仲良く健康でゆとりを持っ て過ごすことができる環境
- ◆自己の人間的な成長を目指す とともに、地域や他者との関わ りのなかで多様な人間性を認 め合える豊かな人間関係を築 くことができる環境
- ※ ◇ は 市民の宝樫の幸福感の感覚 に近い、個人として生活するうえで 必要と思われる環境のイメージ。
- ◆は、他者とつながりを持ち、個人 としての生活の枠から一歩外に踏 み出して努力するといった、社会の 一員として生活するうえで必要と 思われる環境のイメージ。

- ◇家族・友だちと仲良く、 健康でのびのびと過ご すことができる環境
- ◆家庭・学校教育、地域とのつな がりから「生きる力」「社会性」 「郷土への誇り」を育み、将来 の夢に向けて羽ばたく力を養 うことができる環境









◆地域活動などを通じて多くの 世代とつながりを持ち、家族・ 地域・仲間との関わりのなかで 自身の「知識」「技術」「経験」を

◇趣味や生きがいを持ち、

すことができる環境

健康で安心安全に過ご

子ども 一 社会人 一

市民のみなさんの声

田原「幸せづくり市民チーム」の みなさんとの意見交換会より

子どもの頃に、マナーや思いや り、生活に必要な知識を身に付 けられる環境が必要だよね



社会人では、多様な価値観を受け入 れられ、ありのままの自分が表現で きる環境・認められる環境が欲しい!

発揮できる環境

高齢者は、地域の伝統や知恵を孫や 子、若い世代に伝えることができる 環境が必要じゃないかな

「幸せではないと感じている市民」を減らしていくこと

行政の役割としては、幸せと感じている人たちの幸福感をさらに高めていくことよりも、今現在、幸せではない状態に あって、自分の努力だけでは幸せになることが難しい人たちを手助けすべきと考えています。

市民全員の「田原市民が幸福を追求できる環境」を整えていくなかでも、特に、幸せではないと感じている人の幸福感 を高める取り組みに力を入れていきます。





私には信頼できる友だちもいないし、家で も孤独で、将来も楽しみに思えません…。



私の幸せ評価: 2点

私には健康面での不安があり、安定した仕事 も無く、家族の仲もあまり良くありません。

「幸せな環境指標

「幸せな環境指標」は、「田原市民が幸福を追求できる環境」を整えていくた めに何をどのようにしていきたいのかという「取り組みの方向性」と、目標に向 けての取り組みが進んでいるかどうかという「進捗状況」を示します。



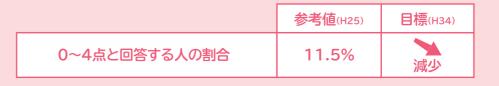
	幸せな環境指標	参考値 (H25)	目標 (H34)
	学校生活が楽しいと回答する生徒の割合 (中学生アンケート)	64.2%	増加
子ども	不登校児童の割合 (学校基本調査、市内小中学生)	1.1% (H24)	減少
	自分や家族の健康で心配や不安があると回答する生徒数の割合 (中学生アンケート)	28.1%	減少
45)	自分の10年後の将来が楽しみと回答する生徒数の割合(中学生アンケート)	77.7%	増加
	田原市が住みやすいと回答する市民の割合 (市民意識調査、20~59歳)	87.4%	増加
社会人	自分や家族の健康状況が良いと回答する市民の割合(市民意識調査、20~59歳)	55.1%	増加
	完全失業率(国勢調査、20~59歳)	2.6% (H22)	減少
	地域(隣近所・地域住民・地域コミュニティ)での人間関係が良いと回答する市民の 割合 (市民意識調査、20~59歳)	28.3%	増加
	健康寿命(注)(市健康課算出)	男性 79.9歳 女性 84.1歳 (H22)	延伸
高齢者	安心・安全に暮らせる環境の現状について良いと回答する市民の割合 (市民意識調査、60歳以上)	29.1%	増加
	社会貢献・生涯学習活動に対する自分自身の取り組み状況に満足していると 回答する市民の割合 (市民意識調査、60歳以上)	15.0%	増加
	地域(隣近所・地域住民・地域コミュニティ)での人間関係が良いと回答する市民の 割合(市民意識調査、60歳以上)	35.6%	増加

(注)健康寿命:健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと

幸せは笑顔から、日標指標「みんなで笑顔指標」

中学生アンケートと市民意識調査の質問『今現在、あなたの「幸せ」の程度を0 ~10点で評価すると何点ですか?』の回答で、中間の5点より低い点数を付ける 人を「幸せではないと感じている人」としています。

田原市民みんなが幸せを感じ、毎日笑顔になれるように「幸せではないと感じ ている人」の割合の減少を目指します。





行政の取り組み

行政各部署の取り組み目標!

代表的な 取り組み目標を 紹介します

行政

幸せづくりを進めていくための行政各部署の取り組み目標です。

































































































行政各部署の取り組み目標は、ここに記載したものだけではありません。

この代表的な取り組み目標を入り口として、全ての部署が全ての取り組みに「幸せづくり」の意識を持ち、幸福感の高いまちづくりを進めていきます。

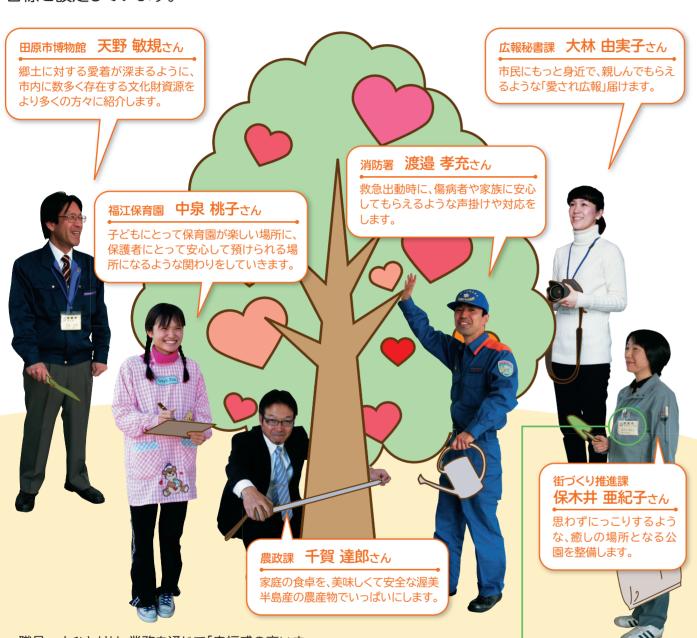




職員一人ひとりの取り組み目標! | 一個

紹介します

職員一人ひとりも、「幸せづくりチーム田原」の一員です。職員全員が日常的に幸せづく りの意識を持って取り組みを進めていけるように、職員一人ひとりが自分自身の取り組み 目標を設定しています。



職員一人ひとりは、業務を通じて「幸福感の高いま ちづくり」を目指します。職員全員が取り組み主体の 一人であるという認識を持って、日常的に「市民の幸 せ」「地域の幸せ」「田原市の幸せ」を意識できるよう 「職員一人ひとりの取り組み目標」を掲げました。

なお、この「個人の取り組み目標」は所属部署の配 置転換や、昇級による役割の変更、個人の取り組みの 達成状況により変わってくるため、随時見直しを行な います。

●職員の名札に…

「職員一人ひとりの取り組 み目標」は、各職員の名札 の裏面に入れて携帯し、普 段から目にすることで、意 識啓発・取り組みの推進に 繋げていきます。



行政の取り組み

取り組みをもっと進めるために

職員の幸せ体験を増やす取り組み

「市民の幸せづくり」のためにさまざまな取り組みを進めていくことは、行政職員の役割です。しかし職員 自身が業務へのやりがいや、幸せを感じられなければ「行政の幸せづくり」は進みません。

そこで各職員がやりがいを感じ、幸福感を高めながら、行政の幸せづくりを進めていくために、これまでの 業務の中で経験した「幸せを感じた体験」の情報を職員全員で共有します。

幸せ体験を職員一人だけではなく、みんなで増やしていく意識を持つことで、幸せを広げ、市民や周りの 職員の幸福感を高めていきます。みなさんの周りで大きく広がった幸せを、積み重ねていくことで田原市全 体の幸せへとつなげていきます。

例えば、私の幸せ体験は・・・

地区の農道整備の用地交渉で…

地域の役員と用地交渉を行 なった際に、なかなか承諾を得 られなかった地権者の方から、 「個人的には工事に納得出来な いが、みんなで使う道路だから 協力する」と言っていただきまし た。また、その数年後、その方か ら「あの時、お前に押し切られて よかった。道路が使いやすくなっ た」と笑顔で言葉を掛けていた だいたことです。



花井 康臣さん

同じ目的を持って、同僚や地域・業者の方と一緒に仕事 をやり遂げられた達成感と、行ってきた仕事について、市 民からよい評価をいただけたことが嬉しかったです。

図書館の企画展を任されて…

大きな企画展の取りまとめ 役を任された際に、チームがう まく機能して、よい展示が出来 たこと。利用者の方からも良い 反応をいただいて、成功を収め たことです。

チームがうまく機能すると、 プラス思考の空気が生まれて、 各自が積極的に動いてくれる ようになり、忙しく働いていて も楽しい気持ちになれました。



取りまとめ役として、みんなでこの気持ちを共有で きたことと、やり遂げたことを利用者・上司・同僚から 評価してもらえたことが、この上ない喜びでした。

幸せづくりが広がっていくために(意識啓発)

幸せづくりの取り組みは、「市民」と「行政職員」の「幸せづくりの意識」が出発点となります。その意識の醸成 のためには、幸せづくりの取り組みを普段から目にすることが重要です。事務局(政策推進課)は、行政職員に 向けた意識啓発を行ないつつ、市民に向けた広報活動、イベントなどの機会を捉えた啓発活動を行なっていき ます。そして、個人の意識から、小さなグループ、さらに大きなグループへと意識の広がりを図っていきます。



市民の取り組み

幸せづくりの主役は自分自身!

市民一人ひとりが思い浮かべる「幸せのかたち」は、それぞれ異なります。その全ての幸 せを行政が実現していくことは不可能です。

あなたの幸せを実現していくのは、あなた自身の力です。自分の幸せに向けて、できる ことから始めてみましょう。

STEP1

自分にとっての「幸せ」って何だろう? 家族の笑顔、大好きな趣味、おいしいご飯・・・ あなたの幸せを具体的にイメージしてみましょう!

あなたが思い浮かべる幸せのイメージを 書き出してみましょう。

■あなたの今の幸せの状態を 10点満点で評価してみましょう。



STEP2

あなたが思い浮かべた幸せを実現するために、 あなた自身に何ができるか考えてみましょう! 例えば・・・明日からできることってなんだろう?



あなたができることを書き出してみましょう。

小さなことでもよいので、 できることからやってみよう!



■どれくらいできたか 自分で評価してみましょう。

頑張った成果が見えると、毎日楽しく続け られます。表を作ってみたり、頑張れた回 数分のシールを貼ってみたりと、いろいろ 工夫して家族みんなでやってみましょう!

色を	全って
活用	ルて
くだ	さい。

188	2日目	3日目	4日目	5日目	
(2)(2)	()(><	()(><	()(><	()(><	
Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	
6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
6 ∃ ∃	788	888	9日目	10日目	

個人の幸せづくりの取り組みが、市民全員に広がっていくことで「みんなが幸福を 実現できるまち」に近づきます。

そのため、自分の幸せづくりを意識し、行動する市民を増やしていくことを目標とします。

自分自身の幸せづくり目標指標 「意識の広まり指標」

市民意識調査の質問『あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えていますか?』の回答で、 「している」「ややしている」と答える人の割合の増加を目指します。

	参考值(H25)	目標(H34)
普段から「幸せ」を意識している市民の割合	54.9%	増加

自分自身の幸せづくり目標指標 「行動の広まり指標」

中学生アンケートの質問『あなたは、普段から自分が「幸せ」になるために何かしていますか?』の回答で、 「している」と答える人の割合の増加、市民意識調査の質問『あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための 努力をしていますか?』の回答で、「している」「ややしている」と答え

る人の割合の増加を目指します。	参考值(H25)	目標(H34)	
「幸せ」になるために何かしている生徒の割合	34.5%	増加	
「幸せ」になるために努力している市民の割合	58.7%	増加	

中学生と市民のみなさんの声

あなたの「幸せ」を高めるために何かしていますか?



イヤなことがあっても、自分で 自分をはげまして、将来イイコト が来るように頑張っています。

福江中学2年生



夢をかなえるために、いろいろ な人とコミュニケーションをと るようにしています。

伊良湖岬中学2年生

市民チーム

川崎 政夫さん



相手の立場を考えた「思いやり」

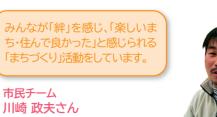
を意識しています。

他の人の机を戻してあげるなど 気を配れるようにしています。



市民チーム 永田 みよ江さん

東部中学2年生



「心の静かさ」や「足るを知る」と いう気持ちを持つことを心掛け ています。

どんなことにも「ありがとう」と

言うようにしています。

市民チーム 小久 保賢二さん



市民の取り組み

大切な人や周りの人たちも幸せに!

市民一人ひとりの幸せの実現は、その人自身の努力によるものですが、周りの人からの 言葉や行動で、嬉しい気持ちになったり、元気が出たり、幸せな気持ちはさらに高まってい きます。

あなたの普段の生活や仕事、活動などを通じて、あなたの大切な人や周りの人たちに対 して、どのような幸せをつくり出すことができるのか考えてみましょう。そして、できること から始めてみましょう。

STEP1

あなたが誰かにしてもらって嬉しかったこと、幸せだったことって何だろう? 嬉しかった言葉、困っていた時に助けてもらったこと・・・ あなたが感じた幸せを思い出してみましょう!

あなたが誰かにしてもらって嬉しかったことを書き出してみましょう。

大人 男性

STEP2

あなたの普段の生活や仕事、活動などを通じて、 誰にどんな幸せを感じてもらうことができるか考えてみましょう! 例えば、家族、友達、同僚、お客さん、隣近所の人たちには・・・

あなたができることを書き出してみましょう。

大人 女性

STEP3

大人 高齢者

周りの人とあなたの幸せについて

■どれくらいできたか

小さなことでもよいので、 できることからやってみよう!

自分で評価してみましょう。

■あなたは周りの人をどれくらい幸せに できたでしょうか。

10点満点で評価してみましょう。





■毎日の頑張った成果をチェックしてみましょう。

	2日目								
Good E	ad Good Bac	Good Bad							



あなたの大切な人たち、周りの人たちが幸せであれば、あなた自身も幸せな気持ち になるのではないでしょうか。お互いの幸せが相乗的に高まり、さらに、大切な人から 大切な人へと幸せが広がることで、田原市民みんなの幸せへとつながっていきます。 そのため、日常的に大切な人たちへの幸せづくりを意識し、行動する市民を増やし ていくことを目標とします。

大切な人たちへの幸せづくり目標指標 「意識の広まり指標」

市民意識調査の質問『あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるように意識しています

か?』の回答で、「している」「ややしている」と答える人の割合の増加 を目指していきます。

参考值(H25) 目標(H34) 64.4% 増加

自分の周りの人に「幸せ」を感じてもらうために何かしている 市民の割合

大切な人たちへの幸せづくり目標指標 「行動の広まり指標」

中学牛アンケートの質問『あなたは、普段の牛活のなかで、自分の周りの人に「幸せ」を感じてもらうため に何かしていますか?』の回答で、「している」と答える人の割合の増加、市民意識調査の質問『あなたは、 あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっています か?』の回答で、「している」「ややしている」と答える人の割合の増

加を目指していきます。

参考值(H25) 目標(H34) 自分の周りの人に「幸せ」を感じてもらうために何かしている 増加 30.7% 生徒の割合 仕事や活動、普段の生活を通じて、周囲を「幸せ」にする 47.8% 増加 取り組みを行っている市民の割合

中学生と市民のみなさんの声

あなたの周りの人に「幸せ」を感じてもらうために何かしていますか?



言葉に気をつけて、相 手の今の気持ちを考 えて行動しています。





地域の人に、自 分からあいさつ しています。



母が仕事で遅くなっ たとき、帰ってくる 前に、洗濯物をたた んだり、お風呂を入 れたりしています。

田原中学2年生

泉中学2年生

笑顔で接して、困っている人が いたらやさしく助けてあげた り、話をするようにしています。

いろんな人がいて、いろんな考えがあ る。多様性を受けとめ、目の前の人の 気持ちを想像するようにしています。



市民チーム 清水 直美さん 赤羽根中学2年生



地元のロケーション(朝日や夕陽)の案内 や、「体験」させてあげること。 採れたて野菜の直送などをしています。

市民チーム 山本 達弥さん



日ごろのあいさつのあとに 一言必ず付け加えるように 心掛けています。

市民チーム 本多 ちえ子さん

地図にない「住民の幸せ」を探して

「住民の幸せ」を行政目標とし、実現に向けて進むことは、「地図にない山」 の頂上を目指すような、手探りの取り組みです。

「住民の幸福度」を高めるために、国や自治体、研究機関が「幸せに関する 指標」の研究を進めていますが、政策と幸福度の関係は単純に計算でき ず、答え(住民の幸せにたどり着くための道筋)はまだ見つかっていません。





ガイドブックを片手に「幸せづくりチーム田原」出発

「田原市のまちづくりをどうしていくか?」

総合計画改定の際に、市民のみなさんと行政が検討して出した結論は「市民の幸せ」に向け、「みんなが幸福を実現できるまち」を目指すということでした。市民の幸せにつながる明確な「答え」がない中で、田原市としては「答えを探す研究」よりも、「まず歩き出してみること」が重要と考え、最初の一歩を踏み出すためのガイドブック「田原『幸せづくり』PLAN」を策定しました。

目標指標を目印に進み具合と方向性を確認

しかし、歩く方向が間違っていたら、どんなに歩き続けても目的地の「市民の幸せ」にはたどり着けません。

PLANの目標指標を目印として「市民の幸せ」に近づいているかどうか、「取り組みの方向性」が合っているかどうかを定期的に確認する必要があります。

そのため、3年ごとに「子どもへのアンケート調査」や「市民 意識調査」を実施して、指標数値やその時々の市民の幸福 感を把握し、必要に応じてPLANの見直しを行います。





歩みを止めないために

田原市が目指す目的地に到達するためには「PLANを作った」だけで終わらず、ガイドブックを片手にしっかりと歩き続けていくことが重要です。市民と行政とが、普段から幸せづくりの意識を持ち、取り組みを進めていけるように、積極的に幸せづくりの意識啓発を行っていきます。

「みんなが幸福を実現できるまち」に向かって、 市民と行政がそれぞれの役割分担のもとでともに手を取り合い、 一歩一歩進んでいきましょう!